

物流ウィークリー8/25に掲載されました。

# 私の宝物



プラウド  
石山光博社長

「これをみると、事業を始めた頃を思い出す」。  
プラウド（東京都千代田区）の石山光博社長が、ドライバー派遣として、仲間と事業を立ち上げたのは8年前。従業員五人で始めた。当時は、資金もなく、駆けずり回って、その日その日をようやくしのいでいたのが実情だった。

「金はないが、何かやらなきゃと考えていた」。そんな時、知り合いが無料でポスターを作成してくれて、「支え



てくれる人が周囲にいてくれる。これほどありがたいことはない」と振り返る社長。そんな周囲のやさしさでできたポスターを、創業メンバーらは大切に残しておきたいと主張。ポスターは額縁に収められ、会社に飾られている。

現在、会社は順調に業績を伸ばしている。従業員は五十人を超え、創業当初の資金的な問題もなくなった。しかし、年月を経て多少変色してしまったポスターには、「がむしゃらだったあの頃を思い出し、よしがんばろう」という気持ちを起こさせてくれる」という力がある。

（高田直樹）

思い出のポスター